広報なばり
市政と暮らしを結ぶ情報紙
9－1号 No.1067
毎月4回発行（日曜日）
ケータイHP
2014年（平成26年） 9月7日日発行

主な内容

2……平成26年度 肺がん・肺結核検診＜胸部レントゲン検査＞
3……ご存じですか？私立幼稚園の補助金制度
4……9月10日は「下水道の日」、「ひやわんまつり」を開催

発行／名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595－63－7402 pr@city.nabari.mie.jp HP http://www.city.nabari.lg.jp

名張市史だより
NABARI HISTORY LETTER No. 12
平成26年9月7日

旧伊賀線―廃線から半世紀

昭和39年10月1日に東海道新幹線が開業しました。その9日後には東京オリンピックが開幕し、日本は、高度経済成長の真っただ中でした。

一方、名張市では、同じ日の昭和39年10月1日に近鉄「旧伊賀線」伊賀神戸―西名張間が静かに廃線となった日でもありました。

今号は、廃線から50年を迎える旧伊賀線の歴史を振り返ります。

問 総務室市史編さん担当 ☎64・2249

伊賀鉄道（新田水路下を通る）

■伊賀鉄道誕生

明治26年に設立された伊賀鉄道株式会社（初代）は、伊賀地域で初めて鉄道の敷設に乗り出しました。奈良県宇陀郡榛原町から名張町を経由し上野町までを結び、西は大阪鉄道、北は関西鉄道へと接続する計画でした。しかし残念ながら、明治33年に開通を見ずして同社は解散してしまいます。月瀬鉄道や伊和鉄道、上名鉄道などが計画を引き継ごうとしましたが、実現はできませんでした。

そんな中、新たに伊賀軌道鉄道株式会社が設立され、大正5年（1916）に伊賀上野―上野町3・9キロ間が開通しました。大正8年には社名を伊賀鉄道株式会社（二代目）に変更し、建設費147万円余り（現在の貨幣価値で約59億円）をかけ上野町―名張町22・4キロ間を大正11年7月に完成させます。今から92年前の出来事です。

■名張の近代化に貢献

この鉄道の開通は名張にとって近代交通の幕開けとして、お春日さん（宇流冨志祢神社）の参道を町中から真っすぐ延長させた現在の西名張郵便局の交差点付近に終点の名張駅が開設されました。

このことによって一躍、名張町の表玄関として周辺の市街地化が進み、翌年には工業製品出荷の利便を考慮して、株式会社高北農機製作所（現株式会社タカキタ）が駅前に工場を開設しました（現イオン名張店の場所）。また、当時名張の主要産業であった材木の貨物輸送のため、多くの木材商が駅周辺に集まり、大正13年には木屋町が誕生しています。

昭和4年（1929）に、伊賀鉄道は、参宮急行鉄道（現近鉄）と合併。翌年には、大阪線が開通し、平尾に新たに名張駅が開設されます。このことによって旧伊賀線の名張駅は、「西名張駅」と駅名を変更しています。

やがて、産業構造や交通手段が鉄道から自動車の時代へと進む中で、昭和30年代には伊賀神戸―西名張区間の1日の平均乗降者数が80人余りに減少し、また貨物輸送量も大きく減少していきました。運行する近鉄は、赤字路線の解消に乗り出し廃線の方向へ進むのですが、もちろん市内では存続運動が起こります。しかし、大阪線と並走する区間の非効率な現状を解消するすべもなく、廃線やむなしの中、西名張駅の敷地（現産業振興センターアスピアの場所）を商業振興のために市へ無償譲渡するなどの交換条件で昭和39年10月1日をもって廃線が決定されました。

旧伊賀線の沿線図

■往年を偲ぶ線路敷き―

旧伊賀線の沿線を見ていきますと西名張駅を出発して、アドバンスコープADSホールの裏手を抜けて県道57号線と平行に今でも線路道が残されています。最初の駅は東町集会所の近くにあった八丁駅で、そのまま名張高校の前を通り現在の蔵持公民館の所に蔵持駅がありました。蔵持駅を抜けると大阪線と並走し、ちょうど桔梗が丘駅の裏を通り、県道57号線と並走しながら現在の北中学校近くの西原駅へ続いていきます。南西原の伊賀コリドールロードの高架のところで大阪線と立体交差をし、やがて小波田川に差し掛かります。そして新田の水田地帯を抜けると「貴人塚」近くに美旗新田駅がありました。新田を出ますと新田水路の土手に差し掛かり、昨年まで一部残されていたトンネルをくぐり、最後に伊賀神戸駅に至り現在の伊賀線へと続きます。

旧伊賀線の面影は、50年の歳月とともにほとんどが失われましたが、往年を偲ぶ線路敷きは市内各地に今も残されています。東町から桔梗が丘駅へ続く線路敷きを利用した道路にはいくつかの小さな橋が架けられています。この橋を下から見上げると鉄橋の骨組みが橋を支えているのを確認できます。

これからの行楽シーズン、名張の近代化を支えてきた旧伊賀線敷きを散策してみてはどうでしょうか。

旧伊賀線の西名張駅

名張の歴史（考古）を知るなら ▼第1巻『名張市史 資料編 考古』▼第2巻『名張市史 資料編 古代』いずれも書籍版…5000円 CD－ROM版…1500円 ▼『おきつもの名張 今と昔』…800円 好評販売中です。問 総務室市史編さん担当 ☎64・2249

毎月11日は「人権を確かめあう日」
1965年8月11日に「同和対策審議会答申」が出されたことを記念して制定されました。

毎月22日は「男女共同参画について考える日」
2004年6月22日に、名張市が男女共同参画都市宣言をしたことにより制定しました。